

## 令和6年度第1回千曲市歴史的風致維持向上協議会会議録概要

- 開催日時 令和7年2月12日(月) 午後1時30分～午後3時00分
- 開催場所 千曲市役所3階 302 中会議室
- 出席者 委員：9名 ※欠席者4名  
事務局：6名(都市計画課長、都市計画課計画係長、都市計画課計画係係員、歴史文化財センター所長、歴史文化財センター主幹)

### 1 開 会

都市計画課長

### 2 会長あいさつ

### 3 協議事項

#### (1) 千曲市歴史的風致維持向上計画の概要について

事務局より説明

[意見等なし]

#### (2) 令和6年度進捗評価(案)について

事務局より説明

[質疑応答]

- |         |  |
|---------|--|
| 委員(意見)  | 4ページ(文化財保護法との連携)の会議日程が空欄となっている。  |
| 事務局(回答) | 現状では会議が開催する日程が決まっていないため、決まり次第修正する。   |
| 委員(意見)  | 7ページ(桑原・中原地区歴史的建造物等整備事業)の整備について「計画どおり進捗していない」と記載されているが、所有者と打ち合わせなど調整を行ったのであれば「計画どおり進捗している」になるのではないのか?また、桑原・中原地区で観光拠点として活用できる情報や施設の検討した内容を記載するなどもう一度書き方について検討してほしい。 |
| 事務局(回答) | 令和7年度に所有者のご意向などを確認し、打ち合わせ実績を記載する。  |
| 委員(意見)  | 国へ報告すると聞いているが、一般に公開されるのか?  |
| 事務局(回答) | 市ホームページに掲載し、一般公開する。  |
| 委員(意見)  | 7ページ(桑原・中原地区歴史的建造物等整備事業)は空欄部分が多く、このままでは内容が不明のため、検討している整備内容の配置図や写真を掲載したほうがよい。   |
| 事務局(回答) | いただいた意見のとおり記載する方向で調整する。  |

- 委員（意見） 13 ページ（戸倉上山田温泉地区 環境整備事業）は日程を入れること。
- 委員（意見） 16 ページ（さらしなの里整備事業）は、本年度の建て替えは財政状況などを鑑みて見送りと聞いたが、それ以外の関連事業内容は？
- 事務局（回答） 本年度は古代体験パークの古代住居の建て替えといったハード的な整備は行っていない。
- 委員（意見） 古代住居の建て替えといったハード的な部分だけでなく、清掃などで歴史散策路の整備を行ったのであれば記載してほしい。
- 事務局（回答） 承知した。
- 委員（意見） 11 ページ（更級・姨捨地区 環境整備事業②）の工事期間はどのようになっているのか？
- 事務局（回答） 本年度の工事については姨捨棚田ビューポイントの青い○の左側の盛土工事を施行している。この部分については令和7年度となる。
- 委員（意見） 令和7年3月28日ですべての工事が終わるということではないということか？
- 事務局（回答） そのとおり。11 ページ（更級・姨捨地区 環境整備事業②）に記載されている期間は本年度施行分の内容となっている。わかるように修正する。
- 委員（意見） 19 ページ（文化財の保存（文化財調査・指定、保存管理・活用等）について）は、過日、新聞報道された佐久間象山と松田家についての記事を掲載したほうがよい。
- 委員（意見） 23 ページ（文化財の保存及び活用の普及・啓発について）の日本遺産「月の都 千曲」ガイド養成講座の受講者の対象は、楽知会を中心に行っているのか？
- 事務局（回答） そのとおり。
- 委員（意見） 23 ページ（文化財の保存及び活用の普及・啓発について）には日本遺産センターで行っている企画展も記載したほうがよい。これだけだとアピール度が弱いように感じる。新聞の切り抜きなども記載してほしい。
- 事務局（回答） 承知した。

[訂正箇所を事務局で修正したのち、国へ提出することで承認]

### (3) 令和7年度事業計画について

事務局より説明

[質疑応答]

- 委員（意見） 「稲荷山伝統的建造物群保存地区 保存整備事業」について、個人に補助金を交付とのことだが、市民に周知されているのか？
- 事務局（回答） この事業は、稲荷山重要伝統的建造物保存地区の伝統的建造物として同意をいただいている建物を修理する際、国の補助金を活用してもらうというものである。来年度は3件補助する予定だが、令和8年度以降に待っていただいている状況である。引き続き事業を進めていく状況である。
- 委員（意見） 稲荷山地区はシャッターが下りている場所が多い。多くの方にこういう事業があるというのを知っていただいて事業を進めてもらいたい。
- 事務局（回答） 国の補助金を活用している関係上、1年間に実施できる件数が限られている。そういった中、待っていただいている方がいるというのが現状である。
- 委員（意見） 国の補助だけなのか？
- 事務局（回答） 市が補助する金額に対し、国と県の補助金が補填されるという仕組みである。
- 委員（意見） 今まで何件補助を行ったのか？
- 事務局（回答） 平成27年度から今年度末で建物としては17棟。複数年で行う建物があるため、事業数で言えば25件となる。
- 委員（意見） 自己負担はどれくらいになるのか？
- 事務局（回答） 単年度あたり事業費の2割となる。8割が補助となる。
- 委員（意見） 桑原・中原地区の整備関係もこの事業費が障害となるのか？
- 事務局（回答） 桑原・中原地区は重伝建ではないため、補助率が50%となってしまう。
- 委員（意見） 今年はこの建物を整備するという周知が足りない。整備する場所を市民に周知したほうがよい。
- 委員（意見） 稲荷山は漆喰のため、1件あたりの単価が高い。どんどんやってほしいが難しい部分がある。また、鍵の手を取得したので観光、賑わいの拠点となればよい。市も戦略的に整備して行ってほしい。
- 委員（意見） 25件も修復したイメージがない。修復をしたものを広報したほうがよい。
- 委員（意見） 稲荷山について令和8年度以降も整備する予定があると聞いたが、どれくらい予定されているのか？また、将来的にどこがどうなるのか市民に見せることでイメージしやすくなる。
- 事務局（回答） 稲荷山地区は昨年3月にまちづくりデザインを作成している。その中では3か所の重点エリアを設定し、集中的に整備するというものである。現状ですが、令和8年度以降に9棟の修復について相談がある。

[原案のとおり承認]

(4) 歴史的風致維持向上計画（第1期）最終評価について

事務局より説明

[意見等なし]

[原案のとおり承認（今後1年間かけて内容検討）]

(5) 歴史的風致維持向上計画（第2期）骨子について及び

(6) 今後のスケジュールについて

事務局より説明

- 委員（意見） 歴史的風致維持向上計画は、まちづくりである。10年、20年かかる。ぜひ実現してほしい。
- 委員（意見） 最終評価シート8ページ（波及効果シート）の自己評価で回遊性の拡大が必要と話しがあった。先ほど説明があった第2期計画の骨子については「回遊性」というキーワードがなかった。「回遊性」というキーワードを課題解決に向けた今後の方針に含めたほうが第2期計画の施策として効果が高くなると思われるがいかがか。
- 事務局（回答） 第1期最終評価にある今後の方針の「(4) 歴史的風致の普及と情報発信に関する方針」に「回遊性」というキーワードを入れたい。
- 委員（意見） 様々な計画の中に日本遺産を位置づけながら、さらに魅力の発信を行うことが重要である。
- 委員（意見） 千曲市は重点区域が西に偏っている部分がある。重点区域については、「千曲市文化財保存活用地域計画」との整合性を図りつつ、「回遊性」というキーワードを入れてもらいたい。「回遊性」は第2期計画の要になると思われる。
- 委員（意見） 千曲市は素材がたくさんある。結局、「回遊性」とは観光資源である。交通政策などいろんな問題が出てくる。一概には言えないが、千曲市にはいろんなところにいろんなものがあることは事実であるから検討していくのは良い。
- 委員（意見） 千曲市には江戸、明治、大正、昭和と色々な歴史がある。千曲市の文化について市民が自覚できていない。第2期計画では「回遊性」と「情報発信」の強化を重点的に取り組んでももらいたい。

[訂正箇所を事務局で修正したのち、原案のとおり承認]

5 その他

[最終評価シート（素々案）について]

事務局（説明） 最終評価シート（素々案）についてよくご覧いただき、次回の法定協議  
までにご意見を頂戴したい。

## 6 閉 会

都市計画課長